

# 平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月10日

上場会社名 株式会社 ロブテックス  
 コード番号 5969 URL <http://www.lobtex.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 士郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 管理本部長 (氏名) 豊島 尚規  
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 大

TEL 072-980-1110

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	4,272	—	△72	—	△131	—	△51	—
20年3月期第3四半期	4,604	4.3	97	△53.2	31	△77.5	△127	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△5.38	—
20年3月期第3四半期	△13.00	—

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	6,590	—	1,962	—	29.2	—	204.52	—
20年3月期	7,041	—	2,120	—	29.7	—	220.09	—

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 1,926百万円 20年3月期 2,092百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	10.00	10.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 有

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,531	85.2	△51	—	△130	—	△65	—	△6.86

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 — 社(社名) ) 除外 — 社(社名) )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 (注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)  
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無  
 (注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)  
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 10,000,000株 20年3月期 10,000,000株  
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 578,367株 20年3月期 491,499株  
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 9,477,117株 20年3月期第3四半期 9,792,343株

### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成20年10月31日に公表いたしました業績数値を上記のとおり修正しております。
- 上記の業績予想は、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき判断したものであります。実施の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3.連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。
- 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、米国に端を発した世界的な金融市場混乱による株価や為替相場の急激な変動影響を受け、企業収益が悪化し、設備投資の減少や雇用情勢の悪化、個人消費の減退がみられ、さらに当第3四半期におきましては、国内外とも急速に景気悪化傾向が強まりました。

このような状況の下、当社グループは創業120年を機に更なる企業の発展・継続のため経営幹部の世代交代を図りますと共に、翼を拡げ、売上拡大を目指したグループ会社組織の再編を進めてまいりました。また、一方で内部統制強化にも取り組み、グループ全体における経営品質の向上に取り組んでまいりました。しかしながら、経営環境は厳しい情勢となり、売上高は42億7千2百万円（前年同期46億4百万円）となりました。利益面では、7千2百万円の営業損失（前年同期は9千万7百万円の営業利益）、1億3千1百万円の経常損失（同3千1百万円の経常利益）となり、特別損益では旧物流センター土地売却益ならびに120周年記念事業費用が発生し、5千1百万円の四半期純損失（同1億2千7百万円の純損失）となりました。

なお、前年同期金額は参考として記載しております。

事業の種類別セグメント業績は次のとおりです。

<金属製品事業>

国内売上高におきましてはファスニング事業における工業用ファスナーが片側施工用の高強度ボルト等の伸張により売上げを増加させましたものの、他の品種につきましては総じて減少いたしました。海外売上高におきましては、ハンドツール事業で韓国向けにモンキレンチ、台湾向けに圧着工具が伸張いたしました。米国向けの建設工具が減少し、ファスニング事業では欧州・北米向けのエアリーベッターが減少いたしました。その結果、金属製品事業の売上高は40億6千3百万円となりました。利益面では、原材料価格上昇や売上先に対する貸倒損失の発生に過年度に退職給付信託に拠出いたしました有価証券の時価下落による退職給付費用の増加が加わり、1億8千5百万円の営業損失となりました。

<レジャー事業（ゴルフ練習場）>

お客様一人当たりの売上高は減少しましたが入場者数は増加し、レジャー事業の売上高は2億8百万円となり、営業利益は1億1千2百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は前期末に比べ4億5千1百万円減の65億9千万円となりました。

資産、負債及び純資産の状況は次のとおりです。

<資産>

流動資産は現金及び預金や棚卸資産が増加しましたが、受取手形及び売掛金が減少し、前期末比2億2千8百万円減の37億9千8百万円となりました。固定資産は旧物流センターの売却による土地建物の減少を主因に同2億2千万円減の27億8千3百万円となりました。

<負債>

流動負債は買掛金及び未払法人税等の減少を主因に前期末比3億9千9百万円減の35億9千7百万円となりました。固定負債は長期借入金金の増加により、同1億5百万円増の10億3千万円となりました。

<純資産>

当第3四半期累計期間純損失の計上並びに配当金支出による利益剰余金の減少を主因に前期末に比し1億5千7百万円減少し、19億6千2百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、前期末に比べ資金が2億5千7百万円増加し、当四半期末には8億7千6百万円となりました。

キャッシュ・フローの区分別の概要は次のとおりです。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

たな卸資産の増加や仕入債務の減少はありましたものの、売掛債権が減少し、資金が5千1百万円増加しました。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

有形固定資産の取得はありましたが、旧物流センター土地売却による収入がありましたので、資金が2億5千万円増加しました。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

金融機関から資金調達を実施いたしました。配当金支出および自己株式の取得により、資金が4千4百万円減少しました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、本日別途公表いたしましたとおり、売上高55億3千1百万円、営業損失5千1百万円、経常損失1億3千万円、当期純損失6千5百万円と平成20年10月31日に公表いたしました業績予想を修正しております。

なお、配当につきましても、業績予想の修正に鑑み、無配と修正しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ簿価切下げを行う方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。

また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

これに伴う営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は、軽微であります。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	976,857	719,798
受取手形及び売掛金	736,521	1,365,363
商品及び製品	1,158,351	1,032,964
仕掛品	297,497	295,414
原材料及び貯蔵品	383,582	324,511
その他	248,123	288,967
貸倒引当金	△2,439	△80
流動資産合計	3,798,494	4,026,938
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,201,961	1,277,657
土地	741,388	870,040
その他(純額)	578,340	617,093
有形固定資産合計	2,521,690	2,764,791
無形固定資産	35,161	15,420
投資その他の資産	226,823	223,818
固定資産合計	2,783,675	3,004,030
繰延資産	8,018	10,655
資産合計	6,590,189	7,041,624
負債の部		
流動負債		
買掛金	190,106	308,910
短期借入金	3,195,396	3,229,111
未払法人税等	13,578	60,884
その他	197,954	397,461
流動負債合計	3,597,035	3,996,367
固定負債		
社債	800,000	800,000
長期借入金	174,572	69,790
退職給付引当金	19,153	16,039
役員退職慰労引当金	29,185	31,265
その他	7,332	7,782
固定負債合計	1,030,243	924,876
負債合計	4,627,278	4,921,243

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	960,000	960,000
資本剰余金	491,045	491,045
利益剰余金	613,649	759,803
自己株式	△147,227	△126,918
株主資本合計	1,917,468	2,083,930
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,414	8,823
評価・換算差額等合計	9,414	8,823
少数株主持分	36,027	27,626
純資産合計	1,962,910	2,120,380
負債純資産合計	6,590,189	7,041,624

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	4,272,896
売上原価	2,953,470
売上総利益	1,319,425
販売費及び一般管理費	
給料及び手当	429,458
その他	962,220
販売費及び一般管理費合計	1,391,679
営業損失(△)	△72,253
営業外収益	
受取利息	1,191
受取配当金	1,863
仕入割引	12,024
その他	22,572
営業外収益合計	37,651
営業外費用	
支払利息	42,940
売上割引	42,817
その他	10,734
営業外費用合計	96,492
経常損失(△)	△131,094
特別利益	
固定資産売却益	147,621
特別利益合計	147,621
特別損失	
投資有価証券評価損	3,619
創業120周年記念関連費用	50,116
固定資産除却損	80
特別損失合計	53,816
税金等調整前四半期純損失(△)	△37,289
法人税等	5,148
少数株主利益	8,592
四半期純損失(△)	△51,030

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純損失 (△)	△37,289
減価償却費	126,744
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	20,878
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	3,114
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△2,080
受取利息及び受取配当金	△3,054
支払利息	42,940
有形固定資産売却損益 (△は益)	△147,541
投資有価証券評価損益 (△は益)	3,619
売上債権の増減額 (△は増加)	611,374
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△186,541
その他の資産の増減額 (△は増加)	79,717
仕入債務の増減額 (△は減少)	△118,804
その他の負債の増減額 (△は減少)	△164,219
その他	△33,799
小計	195,060
利息及び配当金の受取額	2,948
利息の支払額	△48,165
法人税等の支払額	△98,583
営業活動によるキャッシュ・フロー	51,260
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△117,848
有形固定資産の売却による収入	386,270
無形固定資産の取得による支出	△1,326
投資有価証券の取得による支出	△2,556
その他	△14,373
投資活動によるキャッシュ・フロー	250,164
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	8,334
長期借入れによる収入	300,000
長期借入金の返済による支出	△237,267
自己株式の取得による支出	△20,596
自己株式の売却による収入	249
配当金の支払額	△95,085
財務活動によるキャッシュ・フロー	△44,364
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	257,059
現金及び現金同等物の期首残高	619,798
現金及び現金同等物の四半期末残高	876,857

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	金属製品事業 (千円)	レジャー事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	4,063,985	208,911	4,272,896	—	4,272,896
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,063,985	208,911	4,272,896	—	4,272,896
営業利益(又は営業損失△)	△185,146	112,892	△72,253	—	△72,253

(注) 1 事業区分は当社の事業の内容に照らし、金属製品事業とレジャー事業に分類しております。

2 各区分の主な製品

金属製品事業……ハンドツール(レンチ・プライヤ・圧着工具等)、ファスニングツール(リベッター・ナッター等)、工業用ファスナー(リベット・ナット等)、切削工具(ダイヤモンドホイール・ドリル等)などの製造販売

レジャー事業……ゴルフ練習場

3 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会平成18年7月5日企業会計基準第9号)を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

これに伴う当第3四半期連結累計期間の営業利益又は営業損失(△)に与える影響は、軽微であります。

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

本邦以外の国または地域に所在する支店及び連結子会社はありません。

【海外売上高】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	東アジア	北中米	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	419,751	75,923	36,473	61,268	593,417
II 連結売上高(千円)	—	—	—	—	4,272,896
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	9.8	1.8	0.9	1.4	13.9

(注) 1 国又は地域の区分は、地理の近接度によっています。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 東アジア……韓国、台湾

(2) 北中米……アメリカ

(3) 欧州……ドイツ

(4) その他……オーストラリア

3 海外売上高は、当社の本邦以外の国又は地域における売上高です。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。



「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科 目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
	金額(千円)
I 売上高	4,604,430
II 売上原価	3,127,180
売上総利益	1,477,249
III 販売費及び一般管理費	1,379,836
1 給料及び手当	462,430
2 退職給付引当金繰入額	92,851
3 その他	824,554
営業利益	97,412
IV 営業外収益	33,246
1 受取利息及び配当金	3,327
2 その他	29,919
V 営業外費用	99,321
1 支払利息	42,597
2 売上割引	43,479
3 その他	13,244
経常利益	31,337
VI 特別損失	139,180
1 固定資産除却損	922
2 過年度役員退職慰労引当金繰入額	93,535
3 創業120周年記念関連費用	44,722
税金等調整前四半期純損失(△)	△107,842
税金費用	13,873
少数株主利益	5,603
四半期純損失(△)	△127,319